杉並のボランティア情報紙 2023

ボラン・て 11月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

災害に備える
～地域活動から取り組む災害支援～

杉並区社会福祉協議会
地域福祉活動費助成金事業
歳末たすけあい運動募金をもとに実施しています。

和泉第二町会は、杉並区社会福祉協議会の「令和５年度地域福祉活動費助成金」チャレンジ応援助成を活用して、「ユニバーサル野球」を開催しました。災害時などいざという時に備え、助け合えるような、顔の見えるまちづくりを目指しています。

【特集】 和泉第二町会

会長 内藤（ないとう） 賢（まさる） さん(写真後方左から3番目)
和泉第二町会の皆様

まちづくり部部長 岩崎（いわさき） 彰宏（あきひろ） さん
(写真後方中央)

3面･･･ボラセン交流会　報告
　　食料寄附のお願い
4面･･･令和6年度地域福祉活動費助成金　募集

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、
宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。
いつもご協力ありがとうございます。

お問合せは　杉並ボランティアセンター　TEL：5347-3939 ／ FAX：5347-2063 ／メール：info@borasen.jp

【特集企画】
災害に備える
～地域活動から取り組む災害支援～

和泉第二町会は、杉並区東南部にある和泉一丁目と四丁目の町会で、世帯数は約1,000世帯、役員は17名です。防災・防犯パトロールや、きずなサロンさくらの運営等を通し、住みよい安全なまちづくりに取り組んでいます。

関東大震災から今年で100年。【特集企画】災害に備える～地域活動から取り組む災害支援～では、災害に対する取り組みや工夫をしている団体をご紹介し、読者が災害に備えるヒントとしていただきたいと考えています。今回は町会の事例として、**和泉第二町会 まちづくり部部長・岩崎彰宏さん**にお話を伺いました。なお、和泉第二町会は、チャレンジ応援助成団体※の一つでもあります。杉並ボランティアセンターでは、「地域福祉活動費助成金」を通して、地域で活動する団体を応援しています。
※チャレンジ応援助成とは…新規の活動を応援するための助成金。地域の方々からの善意で集まった歳末たすけあい運動募金が原資になっています。

活動内容と震災救援所運営

和泉第二町会では、毎週月曜日20時から町内の防災・防犯パトロール、毎月の防災無線機テスト立ち合い、月１回の防災倉庫点検、きずなサロン「さくら」の運営、そして回覧板による周知、その他単発イベントを行っています。

杉並区では、震度５強以上の地震が発生した場合、区内65か所に震災救援所が立ち上がります。和泉第二町会では「旧新泉小学校」の震災救援所を和泉第一町会、方南西町会と共に運営します。立ち上げるメンバーは町会・防災会・地域協力者などで構成される「震災救援所運営連絡会」のメンバーです。

▲誰でも楽しめるユニバーサル野球

ユニバーサル野球で「顔の見える街」に

助成金事業であるユニバーサル野球を、10月14日（土）に旧新泉小学校で行いました。ユニバーサル野球は、2019年に開発された「紐を引っ張ることでバットが回りボールが打てる」という簡単な仕組みのゲームで、巨大な野球盤のようなものです。障害や性別、年齢にかかわらず楽しめます。和泉第二町会では昨年初めて行い、地域の方々の交流の場になったので、今年度は助成金を活用して実施することにしました。

今年は小さな子どもからお年寄りまで、スタッフも含めると約150人に参加していただきました。スタッフは町会役員だけでなく、専修大学附属高等学校の学生や、和泉仲通り睦会（和泉熊野神社の氏子）も参加し、地域防災コーディネーター育成機構のドローンで、ユニバーサル野球の様子を空から撮影を行いました。第１部は、地域の方が順番に打席に立ち、第２部は「町会VS高校生」の対抗試合を行い、多世代で楽しむことができました。

スタッフや参加者同士で声援を送り合ったり、実際にプロ野球で場内アナウンスを務めている方に自分の名前をアナウンスしてもらえることで、誰もが主役になる経験ができました。また、名前と一緒に好きな食べ物のアナウンスがあり、「〇〇くんはこんな食べ物が好きなんだ！」と盛り上がる場面もありました。アナウンスや声援が、顔が見える関係づくりのきっかけになったと思います。

イベントを震災救援所で行う意義

▲災害用の仮設トイレ

この事業の目的は、地域の方々に、住民同士の交流を図りながら町会の活動を知ってもらうこと、そして震災救援所のある旧新泉小学校で行うことを通し、震災救援所の役割と機能を理解してもらう一助となることです。

イベント当日は、ユニバーサル野球だけでなく、防災倉庫や仮設トイレも見学していただきました。「有事の際には学校に避難をする」という認識を持っている人は多いと思いますが、自分の地域の避難場所はどんな所か、防災倉庫に何があるかを知らない方もいます。平時に防災倉庫の実態を知ることで、災害時には家庭で何を備えるべきか、また、災害の状況に応じ、自宅避難なのか震災救援所に行くべきかの判断の手助けになればと考えました。

ユニバーサル野球で地域の皆さんと交流を深めながら、震災救援所の周知ができたと思います。

皆さんに伝えたいことと今後

町会としては、地域の皆さん同士がより身近な存在になってもらいたいと思っています。そのためにも同じ地域に住む者だからこそ、道で会った時や買い物の際など、まずはあいさつを交わせる関係づくりからはじめたいと思っています。

また上記のイベント等を通じ、震災救援所のことを知ってもらえればと思います。毎年実施している震災訓練の見学に来てもらい、発災時には隣近所の人と避難状況が伝わる関係を目指せたらと思っています。

近年はコロナ禍で人が集まるイベントをあまりできていなかったので、今後も地域の皆さんが楽しめるイベントを開催していきたいです。

▲ 防災倉庫見学の様子(左)/ユニバーサル野球をドローンが撮影(右)

和泉第二町会 〈すぎなみ地域コム〉
https://www.sugi-chiiki.com/c-izumidai2chokai/

杉並区の町会については、すぎなみ地域コム参照
https://www.sugi-chiiki.com/chouren-top.html

杉並区の震災救援所については、杉並区HP参照
https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/kyukyu/hinanjo/1005268.html

開催報告 ボラセン交流会 発信しよう ～つながりを広めるために～

10月1日(日)に開催しました！

▲特技さんのPRタイム

ボランティアや地域活動をしている方が出会いつながる場として、10月1日（日）にボラセン交流会を開催しました。今年は「発信しよう～つながりを広めるために～」というテーマのもと、ボランティアセンターに登録されている**特技さん**（一芸をお持ちの特技ボランティア）と**登録団体**に活動のPRをしていただきました。

また、講師の福田晴一（はるかず）氏からは、PR方法のレクチャーやそれぞれのPRの総評をいただきました。

交流の時間には、参加者の皆さんは団体や特技さんのチラシを熱心にご覧になりながら他団体等との交流を楽しんでいらっしゃいました。

▲各団体のチラシコーナーと交流タイムの様子

福田晴一氏の講義・総評▶
「強みを生かした発信力」

当日は総勢94名の皆さんにご来場いただきました。
発表者の皆さん、ご来場いただいた皆さん、ボランティアの皆さん、ご協力いただきありがとうございました。当日の様子は東放学園専門学校の学生さんに撮影していただき、ただいま編集をお願いしています。杉並ボランティアセンターHPに後日掲載いたしますので、お楽しみに！

お願い 食料等の寄附のお願い

くらしのサポートステーションでは病気や失業等により経済的に困窮している方へ、
自立支援の一環として食料や生理用品をお渡ししています。皆さまのご協力をお願いいたします。

受付期間 令和5年12月1日(金)～令和6年1月31日(水)
8:30～17:00 （土日祝、年末年始を除く）

受付窓口 くらしのサポートステーション
（ウェルファーム杉並1階）

対象品

【食品】賞味期限が明記されており、期限まで3か月以上のもので、未開封のもの
- レトルト食品(カレー、牛丼など)
- 栄養補助食品(シリアルバー、ゼリー飲料など)
- 缶詰(さば缶、やきとり缶などおかずになるもの)
- インスタント食品
- パックごはん
- 防災食(アルファ米など)
- 乾麺(パスタ、袋麺など)

※対象外の食品の場合お受け取り出来ないことがございますので、ご了承ください。

【生理用品】未開封のもの

お問合せ
杉並区社会福祉協議会　生活支援課
くらしのサポートステーション係
TEL:03-3391-1751

ようこそ！

きずなサロン Vol.8 高円寺地区

◆高円寺北きずなサロン

- 活動場所:ゆうゆう高円寺北館（高円寺北3-20-8）
- 活動日時:毎月第3火曜日13:30～15:30
- 活動内容:和やかな空気と時間をともにして、会話を楽しんで過ごすサロンです。
- 協力金:0～100円

★「きずなサロン」は地域の方々がふれあい、交流する場です。世代を問わずみんなで集まり、支え合える関係ができることが期待されています。

2000年にスタート！
70代が楽しく運営しています。

きずなサロンについては、**杉並区社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉推進係へ**お問い合わせください。　TEL:03-5347-1017
ホームページ
https://sugisyakyo.com/suishin/kizuna.html

おもい　まち
募金が地域をよくするしくみ

令和６年度
地域福祉活動費助成金　募集

『地域福祉の推進と団体の自立性を促進すること』を目的に、杉並区内で福祉活動を行っている団体、もしくは活動開始予定の団体が行う事業を「助成金」で応援します。
この助成金の財源は、杉並区内で前年度に「歳末たすけあい運動」で集められた募金です。

対象団体

杉並区内で地域福祉活動を行っている、または活動開始予定の民間非営利団体およびグループ
※営利、政治、思想及び宗教を目的とした団体は対象外となります。

対象事業

令和６年度に実施する事業（令和６年４月１日から令和７年３月３１日までの期間）で、地域福祉活動を推進する事業。また、特定の組織の会員、構成員等に限定されない発展性のある事業です。
※行政等からの補助金や委託を受けている事業や他から助成金など資金援助のある事業は対象になりません。

対象経費

諸謝金・印刷製本費・通信運搬費・消耗品費・会場費・備品購入費など、事業に係る経費
※飲食や団体の運営に関する経費は対象外。他、上限や対象外の経費もあります。詳細は募集要項を参照ください。

助成の種類と上限額

〈総額〉：400万円（予定）
（１）チャレンジ応援助成　１事業上限５０万円
●新規活動の立ち上げ、または立ち上げから3年未満の事業
●先駆的活動
（２）定例活動活性化助成　１事業上限２０万円
●既存の活動を活性化するための事業

募集要項等

●令和５年１２月１日から、杉並ボランティアセンターホームページ、杉並区社会福祉協議会ホームページからダウンロード可能。
●杉並ボランティアセンターの窓口にて配布。

申請方法

杉並ボランティアセンターへ郵送、または持参。
申請期間
令和５年１２月１日（金）から令和６年１月２０日（土）17：00まで（必着）。
提出後、事業内容について来所による面談をさせていただきます。

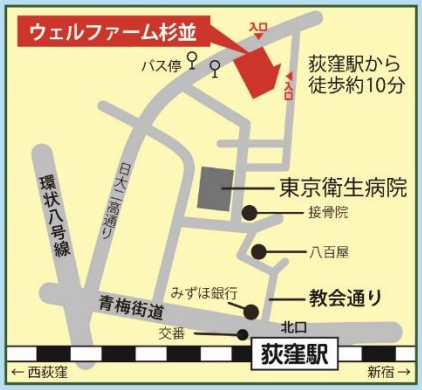
助成金説明会

●助成金の概要や申請書の書き方のポイントなどをご説明いたします。２回とも同じ内容です。
ご都合のよい日時にご参加ください。
① 令和５年１２月14日（木）
１５：００～１６：００
② 令和５年12月20日（水）
１８：３０～１９：３０
※2回とも会場はウェルファーム杉並２階会議室１・２
※１団体２名まで

〈申し込み〉
各回前日までに杉並ボランティアセンターへお電話でお申し込みください。
地域福祉活動費助成金を利用したことのない団体の方はなるべく説明会にご参加ください。

ウェルファーム杉並　工事のお知らせ

令和5年11月中旬から令和6年2月頃まで、ウェルファーム杉並4階（杉並ボランティアセンターのフロア）の改修工事が行われます。ご来館の皆様には、ご迷惑をおかけいたします。なお、杉並ボランティアセンターは通常どおり開所しております。



うぇるくん
杉並社協のイメージキャラクター

杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032　杉並区天沼3-19-16　ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939　FAX: 03-5347-2063
メール：info@borasen.jp　ホームページ：https://borasen.jp/

開所時間：火～土曜日
8：30～17：00
＊祝日・年末年始はお休みです。

情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド（区内 JR、地下鉄丸の内線など）・他